第 96 回 (2021 年 3 月度その 2) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純
(文責: 松下 洋二)

1. 開催日時 2021 年 3 月 30 日(火) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催方法・場所 ZOOM を利用したオンライン会議方式
講師は勤務先より解説
司会 (委員長) は自宅にて進行
委員は自宅または職場にて参加およびオンライン会議のサポート
3. テーマ 「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書(2021 年度版)」の解説
4. 講師 企業集団内部統制に関する監査役職務確認書委員会委員長
レーザテック株式会社 常勤監査役 浅見 公一氏
5. 出席者 34 名 (特別 B1 名含む)
6. 使用資料 (事前に参加予定者にホームページよりのダウンロードを依頼)
「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書の改訂 (第 7 回) について」
一般社団法人監査懇話会 2021 年 3 月
「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書会社法編 (2021 年 3 月改訂版)」
一般社団法人監査懇話会 2021 年 3 月
「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書金融商品取引法編 (2021 年 3 月改訂版)」
一般社団法人監査懇話会 2021 年 3 月
「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書 2021 年 (第 7 回改訂) 版: 新旧対照表」
7. 議事次第
 - 1) 運営委員長より開会の挨拶
菊谷運営委員長よりオンライン参加者の ZOOM 接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日
テーマ紹介を行い、解説者の浅見氏を紹介された。
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者はなし。
 - 2) 講義
午後 2 時 2 分より 3 時 2 分まで、2021 年版企業集団内部統制に関する監査役職務確認書
会社法編について、講師から資料に従って丁寧な解説がされた。
なお、資料本文の誤記修正があり修正項目および内容は以下の通り。
P11/21 61 項 「業集団」→「企業集団」
P17/21 87 項 (注) 「確認項目 75」→「確認項目 76」
P17/21 93 項 「確認項目 80 に関し」→「確認項目 81 に関し」
10 分間の休憩をはさみ、午後 3 時 12 分から 3 時 43 分まで、2021 年版企業集団内部
統制に関する監査役職務確認書金融商品取引法編および両確認書の新旧対照表について、
今回付表として追記した「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書における「コロナ
禍」の扱い」も含めて、講師から資料に従って丁寧な解説がされた。
 - 3) 質疑応答および意見交換等
その後、5 分間質疑を ZOOM のチャットに記入する時間帯を設け、3 時 47 分から 4 時 50
分まで出席会員会友との質疑応答が行われた。なお、質疑は ZOOM のチャット機能に合わ

せて口頭での質疑も受け付けた。参加者からの主な質問や意見は以下の通り。

- ・ 海外親会社による日本子会社に対する監査の事例はあるか。
- ・ 第 27 項「統括本部等による子会社・関連会社に関する重要な承認・報告事項の承認・報告状況を確認する」について、重要な承認事項とは何か（会社法施行規則は「報告に関する体制」を求めているが「承認に関する体制」は求めている）
- ・ 子会社かつ親会社である会社の監査役のスタンス
- ・ 子会社監査役の親会社内部監査部門との連携
- ・ 会社法施行規則 100 条③四口に定める「子会社の取締役、監査役、業務を執行する社員等が親会社監査役へ報告するための体制」の実例はあるか。企業集団の内部通報制度はこれにあてはまるか。
- ・ 本確認書の活用事例や活用結果を当確認書委員会へのフィードバック（要望）
- ・ 第 28 項、第 40 項記載の「伝達していることの確認」は誰に対して確認を行うのか

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請を行った（同日メールで発信）。

さらに、次回の監査技術ゼミは 4 月 12 日に会場聴講・オンライン併用方式で開催予定の旨案内した後、閉会となった。

以上